

募金活動と団キャンプ

名古屋北斗地区 名古屋第79団 団委員長 吉田 匠

4月20日、緑の募金活動を今年もこの時期に東区徳川園で行いました。東側の黒門口と南側の大曾根口にビーバー・カブ・ボーイを2個班に分け実施し、貴重な個人募金を沢山いただきました。声掛けできない時期もありましたが、大きな声を出し又スカウトたちも成果も出て嬉しそうでした。5月3日～5日は毎年恒例の団キャンプを瀬戸市野外活動センターにて2泊3日で実施しました。普段参加できない0B達も参加してスカウトとの交流が出来ボーイスカウトの繋がりを感じるキャンプでした。



どろんこビーバーあつまれ

名古屋異区 BVS担当コミッショナー 杉野 靖子

5月11日、名古屋異地区のビーバースカウトが一堂に会し「どろんこ遊び」を行いました。田植え前の田んぼをお借りして、どろんこになって遊ぼう！というものです。水が大好きなビーバーも、水を張った田んぼに裸足で入るスカウトはドキドキ…勇気が必要でした。自然観察では、ジャンボタニシやカエルを捕まえるビーバーたち。そろり、そろりと田んぼに入ったらゲーム開始！玉入れは移動する籠を追いかけて、ソリレースではソリから転落するスカウト続出。鬼ごっこが終わる頃にはどろんこビーバーの笑顔がたくさん見られました。



夏の活動に向けて

名古屋西部地区名古屋第11団ボーイ隊長 森田孝志

私達は、戸田川緑地を拠点として活動しています。この時期は、夏の活動に向けて準備の季節です。カブ隊は、戸田川緑地の自然観察。普段の活動で見てごしていた草花に、興味津々。ボーイ隊は、腕図章挑戦ハイキングで、次長がクロスベアリングを2級スカウトに指導中。夏の活動に備え、準備に余念のないスカウト達です。



藤前干潟でのガタレンジャー体験会（2025年5月25日）

名古屋千種地区 地区副コミッショナー 阿瀬 吉博

今回の地区カブ合同隊集会は、「ガタレンジャー」と呼ばれる干潟を守る会の方々のサポートで行われる、名古屋市港区の藤前干潟での活動です。昨夜の大雨で潮が引くか心配でしたが何とか入れる状況になり一安心。ビーバー、カブ、保護者など計88名が、地下鉄やバス、保護者の送迎で現地へ向かいました。「あそこに行きます」と隊長が指した先は海、子供たちは不安な様子でした。へそまで海につかりながら慎重に渡り、干潟で穴を掘るとシジミがたくさん、中にはシャコを発見した子供たちもいて、生き物発見に大喜び。潮が満ちるのが早いため約30分で陸へ戻り、ガタレンジャーによる生き物の説明を受けました。名古屋の海の豊かさや干潟の大切な役割を学び、貴重な体験となりました。

